

自然環境整備計画事後評価

都道府県名		三重県		個別地域名		三重県（鈴鹿国定公園、室生赤目青山国定公園、東海自然歩道、近畿自然歩道）		評価年度		R4 年度	
事業実施期間		平成 28 年度～令和 2 年度		事業費		97,290 千円		(うち国費		43,778 千円)	
事業の実施内容		鈴鹿国定公園内、室生赤目青山国定公園内の自然公園施設、および東海自然歩道、近畿自然歩道とその付帯施設について、老朽化した施設の再整備を実施し、災害等により被災した危険箇所の復旧するとともに、公衆便所の洋式化・バリアフリー化等を進め、自然公園施設の利用促進を図った。									
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		鈴鹿国定公園内、室生赤目青山国定公園内において、老朽化した公衆トイレや園地内の施設の再整備により、国定公園内の景観の改善を図ることができた。また、東海自然歩道、近畿自然歩道について、老朽化した施設の再整備、災害による被災箇所の復旧、ルート変更を行うことで、自然とのふれあいの場としての機能を確保することで公園利用者の増加を図った。しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けたため、総じて目標値の達成には至らなかった。								
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指 標		定 義		従前値	目標値	達成値	達成値の評価	
			単 位				基準年度	目標年度	達成年度		
		公園利用者の満足度	%	人と自然のふれあいの場の整備状況に関する利用者の満足度		69.9%	80.0%	79.3%	基準年度より満足度は上がったものの、達成値が目標値を下回る結果となった。トイレや休憩所など老朽化した施設がまだ多く、公園利用者の期待に応えられていない状況であるため、引き続き整備を進める必要がある。		
	公園の利用者数	人/年	鈴鹿・室生赤目青山国定公園の利用者数		3,718千人	3,959千人	2,845千人	新型コロナウイルスの影響を大きく受け、達成値が目標値を下回る結果となった。今後は、従来の施設の老朽化対策等に加え、新型コロナウイルス対策としてトイレの洋式化なども積極的に行い、公園利用者の増加を図りたい。			
その他の指標											
整備に伴う取り組みの実施状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>○鈴鹿国定公園（藤原登山線整備事業：1箇所、東海自然歩道整備事業：3箇所）</li> <li>○室生赤目青山国定公園（青山高原園地整備事業：1箇所、香落溪園地整備事業：1箇所、東海自然歩道整備事業：3箇所）</li> <li>○長距離自然歩道（東海自然歩道整備事業：3箇所、近畿自然歩道整備事業：4箇所）</li> </ul>									
今後の取り組み		引き続き、自然とのふれあいを促進し、自然への意識向上を図るため、自然環境保全に考慮しつつ、施設の魅力を高め、安全で快適に利用できる施設整備を行うとともに、新型コロナウイルス対策を進め、利用者への適確な情報の提供を進めていく。また、東海自然歩道や近畿自然歩道は、自然を楽しみながら、景勝地や歴史文化等に触れることができる唯一の歩道であることから、自然とふれあい、地域の活性化を担う施設として利用者が安全安心に利用できるよう、危険箇所の解消をいち早く実施していく。									